

平和は心の力から生まれます  
平和は心の絆から生まれます  
譲り合う心が平和の礎です  
認め合う心が平和の糧です

by 敬久

## 市長ほっぺ コラム

市長 佐竹敬久



3月3日「平和の日」秋田の集いで

# 涙二例 希望の涙・誠心の涙

年度が改まる四月は、新入学、就職、昇進など、どちらかといえば、おめでたいかたが多いとされる月です。そこで今回は、涙は涙でも、おめでたく、また何とも感動的な涙の話を見せていただきます。

その一 ある高等学校の卒業式での風景です。

卒業式会場への入場の際には、卒業生はおしなべて神妙な面持ちの中にも無事卒業できる喜びをかみしめている思いの晴れやかな表情でした。

卒業証書授与に始まった一連の式典が進み、いよいよ卒業生答辞の段になると、会場のおちこちから、まず女子生徒のすすり泣きが聞こえてきました。そうしているうちに男子生徒の目頭も潤み始めました。

私の席の近くに位置していた、高校スポーツ界では第一線の選手である男子生徒は、いよいよ伝統ある素晴らしい校歌斉唱の段になると大粒の涙で頬を濡らし始めました。

体は大きくとも見るからに純情そうな彼は、第一線に立つためにこの三年間、汗と涙の猛練習に耐えてき



3月3日、秋田商業高校の卒業式

たことでしょうし、試合での悲喜こもごもの思い出が校歌と重なり、感涙につながったのでしょう。

とかく若者の言動に課題が提唱される世ですが、卒業式での若い涙は、これからの長い人生に向けた、まさに希望の涙ということができます。

その二 叙勲の祝賀会での風景です。

ある業界の発展と、その業界団体の設立運営に長年ご苦労されたかたの叙勲祝賀会に出席させていただきました。

七十代半ばの、その業界では草分け的存在のかたで、発起人あいさつから始まり、式典の結びとして、いよいよご本人からの謝辞の番になりました。飾ることなく、淡々とした口調で御礼の言葉を続けているうちに感極まり目が潤み、しだいに涙声に変わりました。仕事柄、叙勲祝賀会での謝辞を聞かせていただく機会は多いのですが、このかたの謝辞は多くを語らずとも、実に心に残るものでした。

このかたの仕事は現代社会には欠かせないものの、どちらかといえば裏方に属するものであることから、このかたは社会的認知度を高めるための業界の団結や若い人材の育成に特に気を砕いてこられました。飾らず飄々としたかたで、まさに人柄がにじみ出る誠心の涙でした。

とかく官高民低といわれる叙勲システムの中で、このようなかたこそもつとも勲章にふさわしいかたではないかとも思った祝賀会でした。

それでは、新年度、新たな気持ちで天候不順に負けることなく元気にスタートを切りましょう。

●●● 4月1日オープン! ●●●

# 河辺・雄和 地域活動センター

河辺市民センター3階、雄和市民センター2階に、市民のみなさんが、さまざまな地域活動の場として利用できる「地域活動センター」がオープン! 多目的ホール、会議室、作品・資料展示コーナー、住民談話室があります。

利用申し込みは、

河辺市民センター総務班tel(882)5221

雄和市民センター総務班tel(886)5511



河辺、雄和ともに、充実した音響・照明設備を備えた多目的ホールを整備しました(写真は雄和)



椅子には便利なテーブル付き



多目的ホールの観覧席は移動式で、河辺、雄和とも98席



観覧席を壁に収納すれば広いフロアに



エレベーターも設置してあります



雄和の第1会議室

河辺、雄和とも、大中小合わせて4つの会議室があります



河辺の第2会議室



3月16日の交付式で

宝くじからプレゼント  
地域の防災に  
(財)自治総合センターから、宝くじの収益を地域の自主防災組織の育成・強化に役立ててほしいと、御野場南町内会自主防災隊に30万円の助成がありました。

御野場南町内会自主防災隊では、消火器や携帯用拡声器、救急医療セットなどを配備。地域防災能力の向上に大きく役立っています。